



第6回 地域連携のためのWEBシンポジウム

謹啓

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、1月25日（金）に第6回 地域連携のためのWEBシンポジウムを開催させていただきたくご案内申し上げます。

今回は伊勢原協同病院の田中明美 先生と茶屋町在宅診療所の松岡邦彦 先生をお迎えし、地域連携の今後の業務に役に立つ内容に関してご講演を頂く予定です。

お忙しいとは存じますが、ご参加賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

謹白

日時

2019年1月25日（金）18:00～19:30

会場

手稲溪仁会病院 溪仁会ビル1階会議室104

テーマ

司会：宮崎県立日南病院 医療管理部 医療連携科
部長 **木佐貫 篤** 先生

講演Ⅰ

「**地域と病院経営を支えるこれからの前方連携
～返書・逆紹介・営業活動～**」

神奈川県厚生連 伊勢原協同病院 地域医療連携室

次長 **田中 明美** 先生

講演Ⅱ

「**在宅療養支援診療所における連携実務者の地域活動
～地域の古民家再生を活用した地域活動、
地域包括ケアの推進について～**」

茶屋町在宅診療所 事業部（相談・医療福祉連携担当）

医療ソーシャルワーカー **松岡 邦彦** 先生

講演終了後、質疑応答の時間を設けています

主催：アステラス製薬株式会社

講師

神奈川県厚生連 伊勢原協同病院 地域医療連携室 次長
田中 明美 先生 医療福祉連携士

ご略歴: 2001年～04年 神奈川県厚生連 健康管理センターあつぎ 勤務 健診業務に携わる
2004年～ 神奈川県厚生連 伊勢原協同病院 地域医療連携室 勤務 現在に至る
2014年 医療福祉連携士 資格取得(3期生)

講演要旨:

前方連携は後方連携と違い診療報酬上で評価されず、重要視されていない病院はまだあります。しかし、地域包括ケアシステムが一層推進されるこれからは、地域住民・開業医はもちろんのこと病院経営にとっても非常に重要となることは間違いありません。

前方連携の中で本日は3つの大切な業務、返書・逆紹介・営業活動についてお話します。

- ① 返書 1週間返書率99%を実現
- ② 逆紹介 登録医リーフレット作り、自院に戻ってくる逆紹介方法
- ③ 営業活動 月に1度の広報誌作成、近隣病院との連携による戦略的営業活動

前方連携に力を注げる病院こそが、これからも生き残っていける選ばれた病院となるでしょう。

講師

茶屋町在宅診療所 事業部(相談・医療福祉連携担当) 医療ソーシャルワーカー
松岡 邦彦 先生 社会福祉士、医療福祉連携士、介護支援専門員

ご略歴: 2000年 愛知県立大学文学部社会福祉学科卒業後、医療法人愛生会小林記念病院 勤務
2001年 社会福祉法人恩賜財団済生会 愛知県済生会病院 勤務
2007年 倉敷市立児島市民病院 地域医療連携室 勤務
2011年 医療福祉連携士 資格取得(1期生)
2011年～12年 兵庫県立大学大学院 経営研究科 医療マネジメントコース 修了(h-MBA)
2016年 医療法人福寿会藤戸クリニック 勤務
2017年 茶屋町在宅診療所 勤務 現在に至る

講演要旨:

超高齢社会を迎える日本社会は重大な岐路に立たされており、「重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される」社会、いわゆる「地域包括ケアシステム」の導入が急務とされています。しかしながら、地域の社会資源とされている医療機関や診療所、社会福祉施設が、どの程度「地域活動」にコミットしているのでしょうか？ また、地域包括ケアシステムを支える土台とされている「地域社会」や「地域コミュニティ」に果たして社会を支えるだけの機能や体力がどれだけあるのでしょうか？

この度の講演では来るべき厳しい時代に備え、地域住民が「我が事」として地域の課題を考えることができることを目標として、地域にある古民家の再生を活用したまちづくり、地域包括ケアの推進に関する当院での実践事例をご紹介します。

また、在宅療養支援診療所のMSW(連携実務者)が、なぜ業務の一環として地域活動に参加するようになったのか、どうして古民家再生の活用し、まちづくりと地域包括ケアの推進を目指すNPO法人設立に至ったのか、その理由や活動経緯につき簡単にご説明させていただきます。

司会

宮崎県立日南病院 医療管理部 医療連携科 部長
木佐貫 篤 先生 医学博士、病理専門医、細胞診専門医

ご略歴: 宮崎医科大学 卒業後、宮崎医科大学大学院(細胞器官系)を修了
1993年 宮崎医科大学病理学第一講座 助手
2000年 宮崎県立日南病院 臨床検査科 医長
2003年 同院 地域医療連携/医療相談室長(兼任)
2006年 同院 医療企画部 医療連携科 医長(兼任)
2010年 同院 診療部 臨床検査科(兼任) 医療管理部 医療連携科 部長
2015年 同院 診療部 病理診断科(兼任) 医療管理部 医療連携科 部長 現在に至る

主催: アステラス製薬株式会社